

りながら、森林が持つ多様な機能が発揮できるよう努めたい。

自由民主党

東部地区の将来の都市像

問 地区住民がどのように暮らしていったら良いのかを考えるために、日常の買い物環境、医療環境、教育環境、交通環境等が今後どうなっていくのかわかり、自分たちの町の将来像がわかりやすい形で示されることが大切である。そこで、東部地区の将来の都市像を伺いたい。

答 市都市計画マスタープランに沿って、道路、公園、公共施設、交通体系などの整備を行っている。地区の将来の都市像を描くためには、地元の意見を集約して建設した東部地区公共施設や地元と大学、企業が連携して取り組んでいる東長崎エコタウン構想など、行政と住民が協働して取り組むことが重要と考えている。今後とも、地域住民との協働による地域の発展に努めたい。



都市計画マスタープラン

新風会

長崎県立図書館の本市での存置

問 長崎県立図書館については、現在、長崎市と大村市の建設候補地で検討が進められているが、これまでの経緯や人口の集積を考えると他都市へ移転する理由は見当たらない。また、図書館のあり方を議論するだけではなく、県の財政状況を考慮すると、本市が土地を無償で提供できるにもかかわらず、県と考えるが、見解を伺いたい。

答 本市は大村市との誘致合戦ということではなく、また、建設地の有償、無償に関係なく、県立図書館に求められる機能、役割から県民にとって一番有益な場所は長崎市であると主張してきた。県民のための県立図書館であり、本市が土地を提供すべきものではないと考えるが、今後、中心部に優良な用地が出てくる可能性もあるので、柔軟に県と協議していききたい。



建て替えが予定されている長崎県立図書館

長崎市民会議

「長崎クリスマス」の顕在化

問 冬の観光振興策として、長崎クリスマスを充実させてはどうか。3年目を迎えた、長崎ハートフル・イルミネーションをコンサートなどと組み合わせさせたイベントとして定着させるため、民間団体の盛り上がりが見られるよう市長自ら働きかけ、観光振興の実施を目指す考えはないか、見解を伺いたい。



ハートフル・イルミネーション
(長崎水辺の森公園)

答 長崎ハートフル・イルミネーションは民間、市民との連携により、まちの中心部において、クリスマス関連のイベントとして実施されている。その取り組みについては、観光の閑散期である冬の宿泊滞在型の観光振興策の一つとして重要であると認識しており、主催者等の取り組みとの一層の連携を図り、充実する方策について考えていきたい。

気走会

孫文・梅屋庄吉記念館建設

問 長崎市出身で孫文の辛亥革命を陰から支えた梅屋庄吉の功績をたたえ、特に青少年に広く知ってもらうために、孫文・梅屋庄吉記念館をつくるべきだと思うが、考えを伺いたい。

答 本年10月1日から長崎歴史文化博物館において、特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」を本市、長崎県、長崎歴史文化博物館が共同して開催している。二人の歴史的な友情を顕彰し、中国を初めアジア各国に情報発信することは重要と考えている。また、二人の友情を中国と本市の貴重なかけわり合いとして受け継ぎ、今後も大切にするため、同企画展終了後の孫文・梅屋庄吉の関連資料の活用について、常設展示を視野に入れた検討を県と市でしっかりと行っていきたい。



孫文と梅屋庄吉夫婦
(小坂文乃氏所蔵)